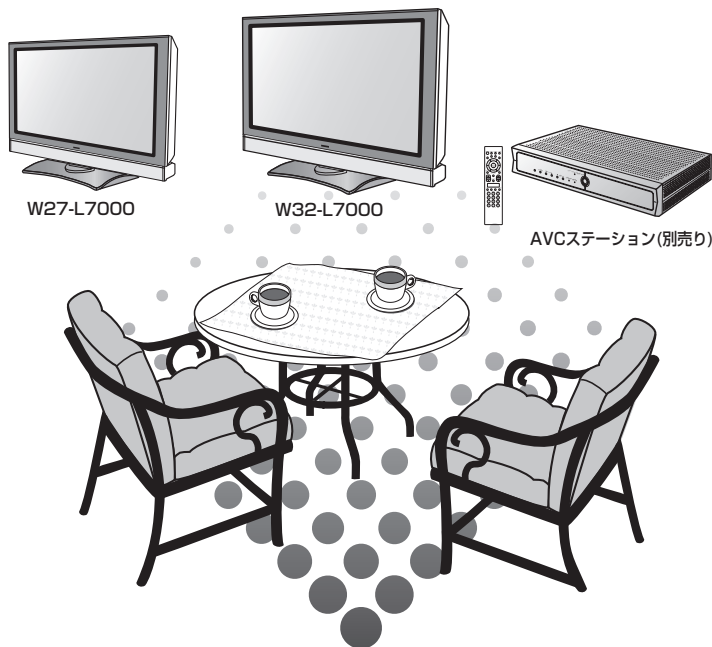
日立液晶テレビモニター

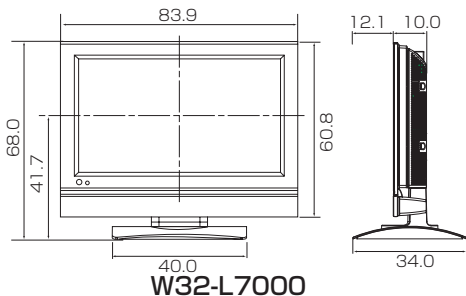
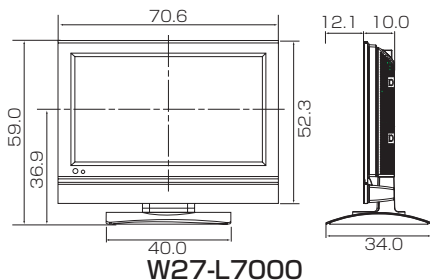
形名

W27-L7000 タイプ
W32-L7000 タイプ

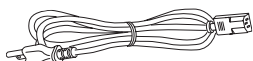
HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

このたびは日立液晶テレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この説明書は、2モデルタイプの説明書となっています。各機種の仕様の相違については裏表紙をご覧ください。本文中のイラストは主として、W27-L7000タイプで説明しています。
日立液晶テレビは、下記の構成になっています。
本機は、必ず専用のAVCステーション(別売り)と接続してください。

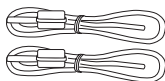
構成内容
●液晶テレビモニター部 ●AVCステーション部

最初に　「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」とAVCステーションに付属の「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

（単位：cm）

付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

電源コード（黒色）

電源プラグアダプター 15

保証書 ………………………………1冊
取扱説明書（本書）………………1冊

スピーカー接続ケーブル（2本）

お守りください

●電源コードと電源プラグアダプターは、必ず付属品をお使いください。
●付属品の電源コードと電源プラグアダプターは、本機以外の電気機器には使用しないでください。

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

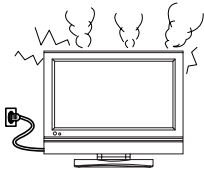
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味

- 気をつけなければならない。「注意」を示します。
- 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。
- してはいけない。「禁止」を示します。
- 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

⚠ 警告

■ 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

●煙が出ている、へんな臭いや音がする
●画が乱れる・映らない、音がでない
●本機の内部に異物(水、金属など)が入ったなど

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

設置をするとき

⚠警告

■ 転倒防止の処置を行う

モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

●液晶ディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとけがの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど。

■ キャスター（車）止めをする

テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。

液晶テレビモニターが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けががの原因となることがあります。

⚠注意

■ 開梱や設置作業は2人以上で行なう

本機は、重いので、開梱や設置作業は2人以上で行なってください。<u>けがの原因</u>となることがあります。

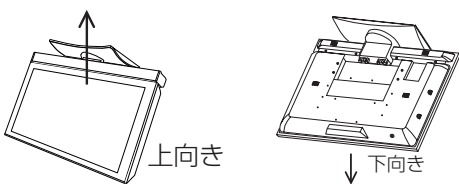
■ 通風孔をふさがない

<u>火災の原因</u>となることがあります。

通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。特につぎのような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- 新聞、テーブルクロスなどを掛ける。
- カーテンなどでふさぐ。

上向き

下向き

■ アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

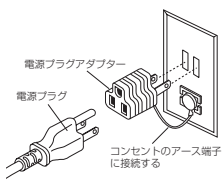
- 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

■ 本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しない

医療機器の誤動作の原因になることがあります。

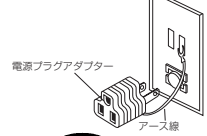
■ アース線を必ず接地する

本機は安全のために必ず、アース接地してご使用ください。

アース線を接続せよ

- 2極コンセント(アースなし)の場合は、アース工事が必要となります。アース工事は、販売店・電気工事店にご依頼ください。
- アース端子付きコンセントの場合、付属の電源プラグアダプターを使用し、アース線をアース端子に接続してください。
- アース接続は必ず、電源コードプラグをコンセントに接続する前に行なってください。
- アース接続を外す場合は、必ず電源コードプラグをコンセントから切り離してから行なってください。

■ 電源プラグアダプターのアース線は、アース端子以外とは接続しない

次のようなところにはアース線を接続しないでください。(法令で定められています。)

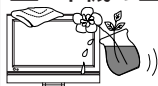
- ガス管……………爆発や引火の危険があります。
- 電話線や避雷針…落雷のとき危険です。
- 水道管……………途中がプラスチックの場合アースとなりません。

電源プラグアダプターのアース線をコンセント端子に差し込むと<u>火災・感電の原因</u>となります。

⚠警告

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 本機の上に花びんなどを置かない

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

●花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。

●ペットが乗らない様、ご注意ください。

■ 異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

特にお子様にはご注意ください。

■ 本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場やシャワー室で使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 指定の電源電圧で使用する

本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない

接触禁止

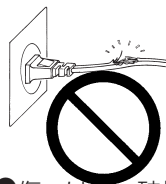
感電の原因となります。

■ 電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■ 電源コードを傷つけない

火災・感電の原因となります。

傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

●傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

⚠警告

■ 裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

分解禁止

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 本機の上に裸火を置かない

例えば、火のついたローソク、たばこのような、裸火を置かないでください。火災や故障の原因となります。

■ 衝撃を与えない

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

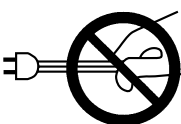
■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ スイーベル回転範囲内に物を置いたり、操作中に顔や手などを近づけない

ものが倒れて壊れたり、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

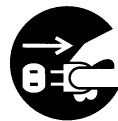
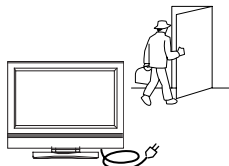
倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ 間違った電池の使い方をしない（リモコンはAVCステーションの付属品です。）

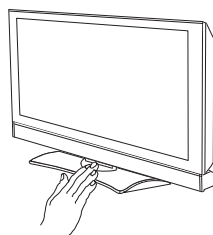
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

特に、次の使い方はしない。

- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

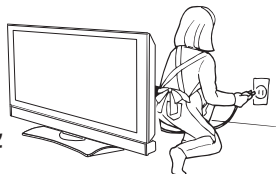
■ 長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

■ モニターとスタンドの間に手を入れない

モニターとスタンドの間に、手を入れた状態で、モニターの角度調節をすると、挟み込まれ、けがの原因となります。
危険ですので、おやめください。
特に小さいお子様にはご注意ください。

指を挟まれないよう注意

お手入れするとき

⚠注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く

■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■ 高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光のあたるところやや熱器具（ストーブやエアコンの吹き出し口等）の近くなど。

■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

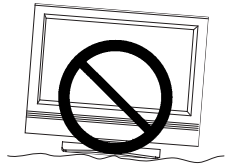
■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■ 搬送についてのご注意

引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

■ 液晶テレビモニターの設置について

●傾斜面や、平坦でない面、カーペットなどの柔らかい面、変形した面などへの設置をさけてください。落下や転倒したり、リモコンによるスイーベル動作が不安定になる場合があります。
●モニター部をフローリングの床に直接設置することは避けてください。
フローリングの材質・表面状態によっては床面とスタンドの滑り止めが強く密着し、モニター部を持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

■ 液晶パネルの強度について

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり、物をぶつけると、液晶セル、ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

■ スプレークリーナーは使わないで

スプレークリーナーは使わないでください。液晶パネル表面の変質や水滴がすき間から入り故障の原因となります。

■ 液晶パネルのお手入れについて

本機のパネル表面は、AVCステーションに付属のクリーニングクロスや柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。化学ぞうきんは、パネル表面のコーティングがはがれる恐れがありますので、ご使用にならないでください。また、硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネルの表面が傷付きますのでご注意ください。
指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

■ キャビネット（外装）のお手入れについて

●キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
亀裂が生じたり、変質・塗料がはげるなどの原因となります。
●化学ぞうきんやクリーナー、ワックスは、含まれている成分により、キャビネットに亀裂が生じたり、変質の原因となりますのでご使用にならないでください。
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、AVCステーションに付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
・酸、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OAクリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類など

お知らせ

■ 面欠点について
液晶パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■ 残像について
静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

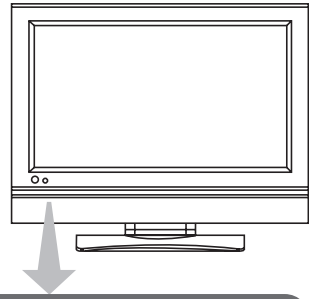
■ 液晶パネル表面温度について
液晶テレビは、内蔵している蛍光ランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。

■ 輸送時について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスが破損する、面欠点が増加する、内部の蛍光ランプが破損する可能性がありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

■ ご覧になる位置は
画面のたての長さの3～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすくて疲れにくくなります。

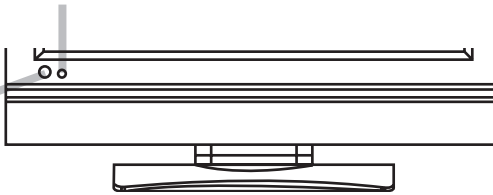
■ 赤外線応用機器について
赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの機器は、本機が設置された部屋で同時にご使用されますと、これらの機器にノイズが入ったり、使用できなくなることがあります。
これは故障によるものではありません。あらかじめご承知おきください。

■ 本機の温度について
液晶モニターを長時間使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

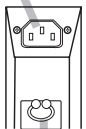
■ 低温度環境での使用について
液晶の特性により、周囲温度が下がるにつれ、液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

W27-L7000

後面

主電源ボタン

フック

スピーカー端子

スピーカー端子

電源コード
コネクター

専用スタンド接続ケーブル

クランプ

サブウーハー出力端子

サービスマン用ボタン
※通常は使用しません。

専用スタンド
接続端子

クランプ

専用モニター入力端子

W32-L7000

後面

主電源ボタン

フック

スピーカー端子

スピーカー端子

電源コード
コネクター

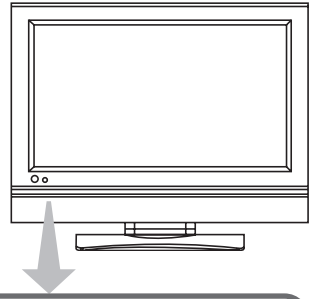
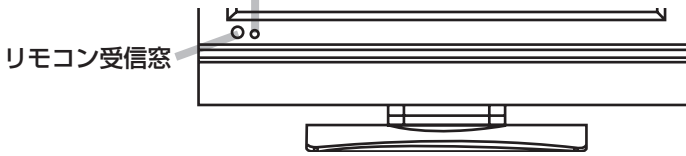
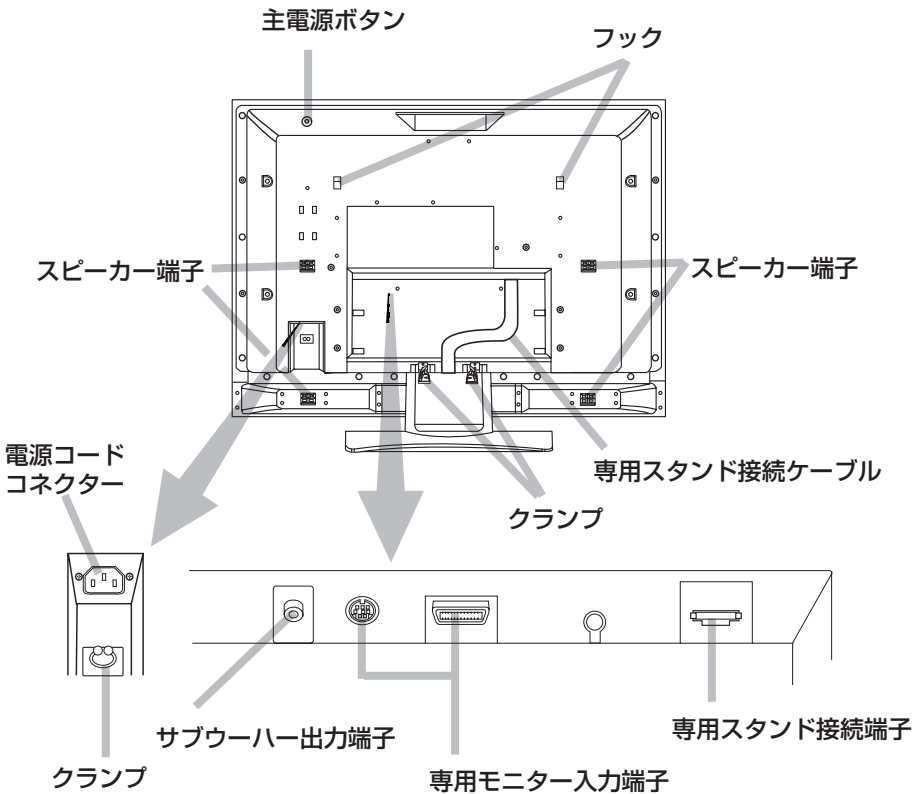
専用スタンド接続ケーブル

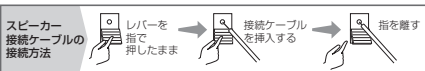
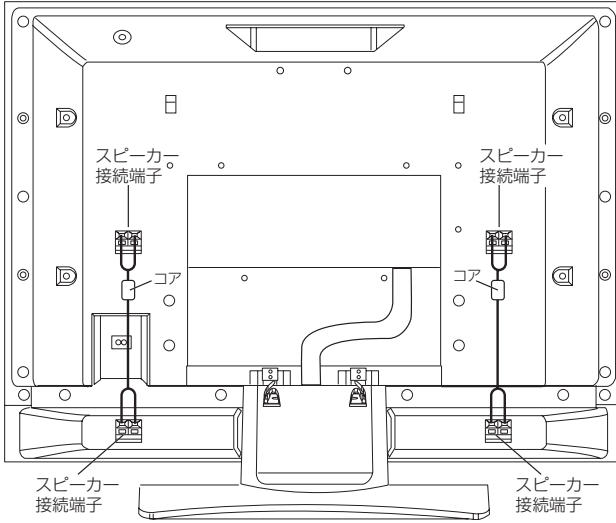
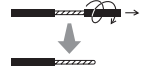
クランプ

サブウーハー出力端子

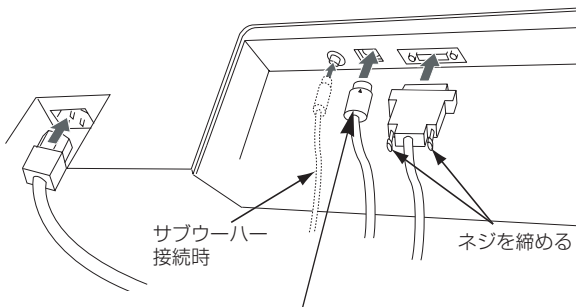
専用スタンド接続端子

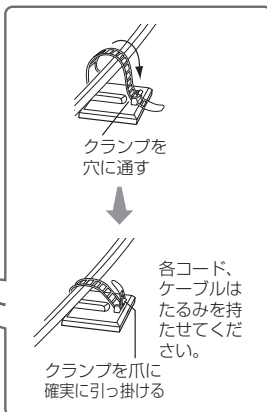
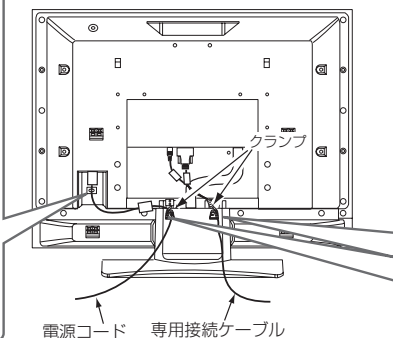
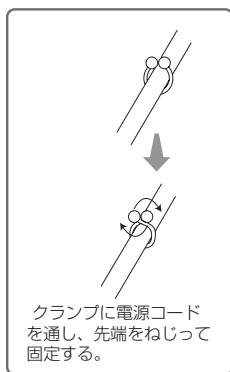
クランプ

専用モニター入力端子

⚠ 注意
スピーカーや専用接続ケーブルは、必ずモニターの主電源を切った状態で接続／取り外しをしてください。

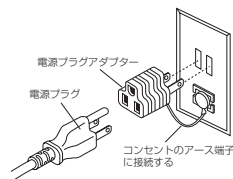
1 モニターとスピーカーにスピーカー接続ケーブルを接続する

付属のスピーカー接続ケーブルを図のように加工してください。

2 モニターにAVCステーションとの接続ケーブルおよび電源コードを接続する

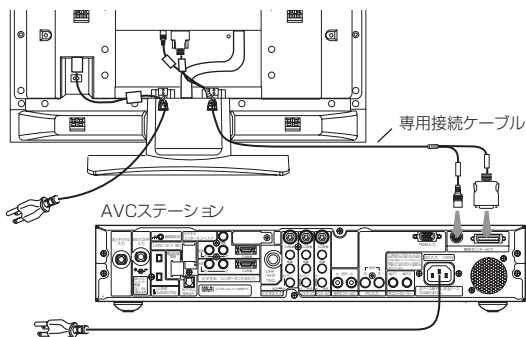
専用接続ケーブルの大きいコネクタープラグは、ゆるまないようにネジで止め、小さいコネクタープラグ、電源コードは、奥までしっかり挿入してください。

※小さいコネクタープラグは、確実に根元まで差し込んでください。

3 電源コードや専用接続ケーブルをクランプで固定する

電源コードの接続手順
① 電源コードのコネクタープラグをモニター後面の電源コードコネクターに差し込む
② 電源コードのプラグをコンセントに差し込む

■アース端子付きコンセントの場合

- ●付属の電源プラグアダプターを使用し、アース線をアース端子に接続してください。
- ●アース接続は必ず、電源コードプラグをコンセントに接続する前に行なってください。アース接続を外す場合、必ず電源コードプラグをコンセントから切り離してから行なってください。

⚠ 注意

電源コードや専用接続ケーブル（スピーカー接続ケーブル除く）は、必ずスタンドのクランプに確実に固定してください。モニターを左右に回転操作したとき、コネクターが抜け、映像や音声が出なくなったり、コネクターの破損や発熱し、火災の原因となることがあります。

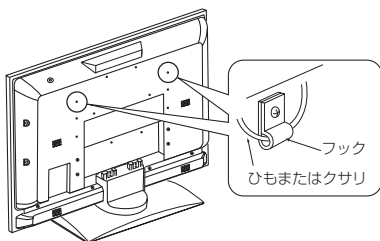
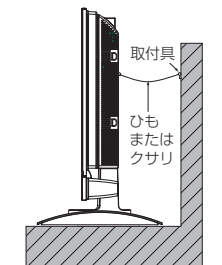
4 モニターとAVCステーションを接続する

転倒防止について

スタンドご使用時の転倒防止について

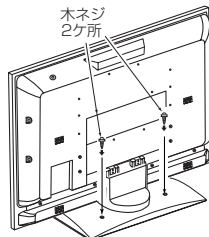
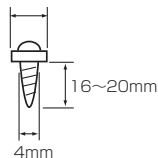
本機は、大きな地震などの際には倒れる危険があります。必ず転倒防止をおこなってください。

壁または柱などに固定する場合

1 図のようにモニター背面上部に付いているフックにひもまたはクサリを通してください。

※ひもまたはクサリは市販品をご利用ください。

2 ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などをお選びになり、しっかりと固定してください。

※取付具は市販品をご利用ください。
※チルト、スイーベル動作させたときに、支障にならない程度にひもまたはクサリをたるませてください。

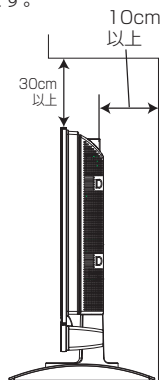
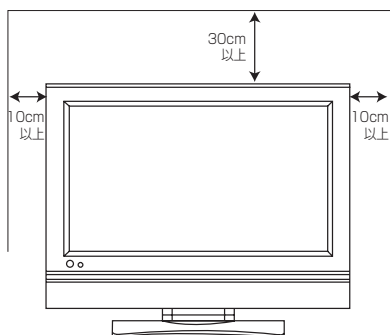
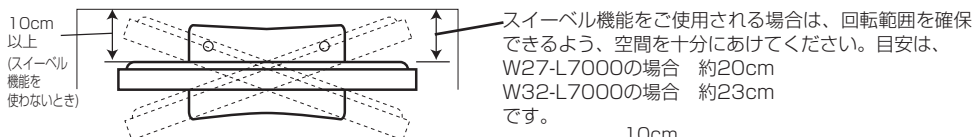
卓上などに固定する場合

1 十分な耐荷重を有する平坦で堅牢な卓上面に、スタンド後部のネジ穴に木ネジなどで確実に固定してください。（左右2ヶ所）

2 木ネジなどについては市販品をご利用いただき、しっかりと固定してください。

⚠ 注意

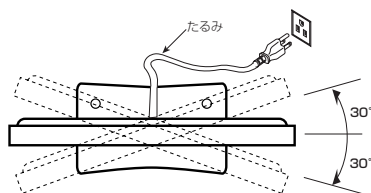
本機は必ず、平坦で安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。
本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

据え付けるときのご注意

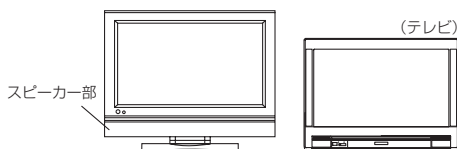
モニターの設置について

モニターの周囲は、放熱のための空間およびスイーベル時の空間を十分に確保してください。

⚠ 注意

通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

電源コードおよび専用接続ケーブルを接続する際は、スイーベル回転に支障のないようにたるみをもたせてください。 15

⚠ 注意

スイーベル回転中に手や顔、物を近づけない。
また、必要以上の力で急激に回転させないでください。（スイーベルスタンド部が破損する恐れがあります。）

ブラウン管タイプのテレビをスピーカー部に近づけると、ブラウン管テレビに色むらや画面揺れが発生することがありますので離して使用してください。

⚠ 警告

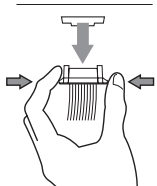
本機の据え付けには性能および安全性を維持するために必ず付属のスタンドや専用のオプションユニットをご使用ください。
付属のスタンドを取りはずし、別の取り付け強度が不足する部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

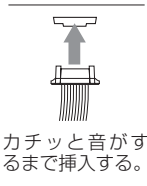
壁掛け取り付けについて

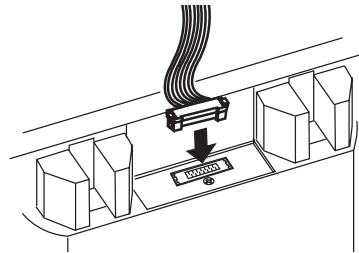
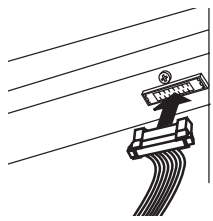
●別売りの専用壁掛けユニットの取扱説明書に従って、取り付けてください。
●壁掛け取り付け時には、スタンドを取り外してください。

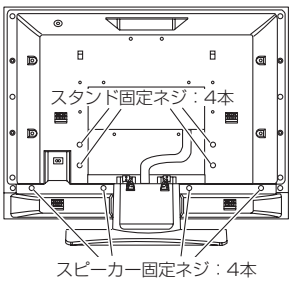
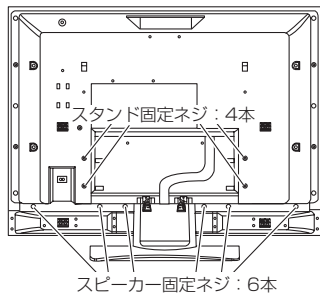
メモ

モニターとスタンドの接続について

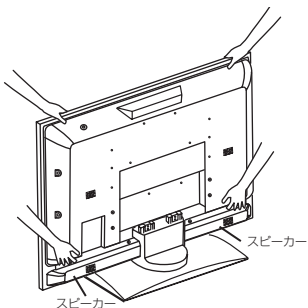
●モニターからスタンドを取り外す前に、専用スタンド接続ケーブルを外してください。

コネクタ左右のロックをつまんで下に引き抜く。

●モニターにスタンドを取り付ける場合は、スタンドを取り付けた後、専用接続ケーブルを挿入してください。（接続をしないとリモコンでのスイーベル機能が使用できません。）

カチッと音がするまで挿入する。

●スタンド接続専用ケーブルのコネクターの挿入向きにご注意ください。

スタンドをモニターから取り外すときは

W27-L7000

W32-L7000

●一度スピーカー固定ネジを外して、スピーカーを取り外してください。
●その後、スタンドのネジを外して、スタンドを取り外してください。
●スピーカーを取り外したときと逆の手順でスピーカーをもとのように取り付けてください。

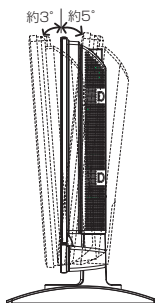
⚠ 注意
別売の専用壁掛ユニットを使用して壁に取り付ける場合は、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

運搬するとき

●運搬するときは、二人作業で持ち運びしてください。

●持ち運びは、後面側から製品の上側と下側の両端部を持って製品を保持してください。
スピーカーを持って保持しないでください。取り付け部品が外れて、製品が落下してけがの原因となることがあります。

⚠ 注意
モニターを移動するときは、スピーカーを持たないでください。

本体の傾きを変えるとき

●本機はチルト機能を採用していますので、手動でモニターの上下角度を調整できます。

⚠ 注意
チルト調節中にモニターとスタンドの間に手や指を挟まないように注意してください。げがの原因となります。

お守りください
チルト調節時は、製品に強い力がかからないように注意してください。故障の原因となります。

⚠ 注意
本機背面の通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- ラック、箱のような狭いところに入れないでください。
- 周囲の壁などから10cm以上離してください（モニターを壁掛け設置する場合は除く）。
  ただし、上部については、30cm以上離してください。

⚠ 注意
電源プラグをすぐに抜くことができるようにモニターとAVCステーションを据え付けてください。

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意
別売の専用壁掛ユニットを使用して壁に取り付ける場合は、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

- モニター部を壁掛けでご使用になる場合は、必ずモニターとスタンド間の専用接続ケーブルを外してご利用ください。18

本モニターとAVCステーションを接続してご使用されることにより、スタンバイ/受像ランプの発光色で、液晶テレビモニターの動作状態を知ることができます。

スタンバイ/受像ランプ	テレビの状態	内　　容	お知らせ
緑色	オン状態	通常映像が表示されています。	メニューの設定でパワーセーブにならない様にすることも可能です。（ビデオ入力のみ）
橙色	パワーセーブ状態	PC/ビデオ入力の信号が無い状態が約10秒続くとこの状態になります。	
赤色	スタンバイ状態	リモコンで電源を「切」にしてあります。	
ー（不灯）	主電源オフ	主電源ボタンがオフ状態、または電源プラグが抜けている。	
橙色点滅	ー	専用接続ケーブルが抜けているか、外れています。接続状態を確認してください。	

パワーセーブとは、入力信号が無くなったことを検知して、自動的にテレビの消費電力を節約する省電力機能です。
パワーセーブ状態は、電源のスタンバイ／受像ランプで確認できます。
パワーセーブには、ビデオ入力信号を検知するビデオパワーセーブとPC入力信号を検知するPCパワーセーブがあります。詳しくは、AVCステーションの取扱説明書をご覧ください。

下記およびAVCステーション取扱説明書の「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

このようなときは…	よくある事例
モニターの表面温度が高い	液晶テレビは液晶パネルに内蔵された蛍光ランプを点灯しています。そのため、パネル表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。
画面上に周囲と異なる点（※）がある ※光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など。	液晶パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。 これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。
映像・音声が出ない	AVCステーションのスタンバイ/受像ランプが緑色であるにもかかわらず、映像（音声）が出ない場合 ①専用接続ケーブル、スピーカーケーブルが接続されていない、または不完全接続となっています。 14 を参考に接続状態を確認してください。 ②主電源ボタンがオフ状態、または電源コードが外れている。 ③主電源ボタンをくりかえし何度もオン/オフさせたり、早くオフ/オンさせると、本機の保護回路が動作し、映像が出なくなることがあります。この場合は、電源ボタンをオフにして、しばらく待ってからオンすることで回復します。

保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）

修理を依頼されるときは（出張修理）

AVCステーション取扱説明書の「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書（別添）
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。（保証書は、モニターとAVCステーションにそれぞれ1部同梱しています。）
保証対象装置：モニター　W27-L7000
　　　　　　　　　　　　W32-L7000
　　　　AVCステーション　お手持ちの機種名

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間
テレビの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	日立液晶テレビ
形　　名	モニター　：W27-L7000 W32-L7000 AVCステーション：お手持ちの機種名をご連絡ください。
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名
電話（　　　）
ご購入年月日
年　　月　　日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

このような症状はありませんか
- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止
故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120-3121-68 FAX 0120-3121-87 （受付時間）365日/9：00～19：00	TEL 0120-3121-11 FAX 0120-3121-34 （受付時間）9：00～17：30/携帯電話、PHSからでもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

仕　様

形名	液晶テレビモニター	W27-L7000	W32-L7000
パネル	パネル	27形液晶ディスプレイパネル（16：9）	32形液晶ディスプレイパネル（16：9）
	表示画素数	水平1280×垂直720	水平1366×垂直768
表示寸法		幅59.7×高さ33.6/対角68.5(cm)	幅69.8×高さ39.2/対角80.1(cm)
音声実用最大出力		24W（総合）（JEITA）	
スピーカー		5.7cmウーハー…4個、3.5cmツィーター…2個	
電　　源		AC100V 50/60Hz共用	
動作保証温度		5～35℃	
消費電力		120W	148W
		待機時0.4W以下	
端　　子		サブウーハー出力端子 ……………1個 専用モニター入力端子 ……………1個	スピーカー端子(右)(左)　………各1個
外形寸法	モニター+スピーカー	幅70.6×高さ52.3×奥行10.0(cm)	幅83.9×高さ60.8×奥行10.0(cm)
	モニター+スピーカー+スタンド	幅70.6×高さ59.0×奥行34.0(cm)	幅83.9×高さ68.0×奥行34.0(cm)
質量	モニター+スピーカー	13.1kg	19.8kg
	モニター+スピーカー+スタンド	17.2kg	24.0kg
付　属　品		電源コード ……………………………1本 電源プラグアダプター ……………1個 スピーカーケーブル ………………2本	取扱説明書 ……………………………1冊 保証書 …………………………………1冊 2 を参照してください。

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
●本製品は「JIS C 61000-3-2適合品」です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）365日/9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
（受付時間）9：00～17：30/携帯電話、PHSからでもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 日立製作所

〒244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

Printed in